

平成29年1月定例教育委員会会議結果報告及び会議録（要点筆記）
【一部非公開】

日 時：平成29年1月13日（金）14：00～15：10

場 所：古賀市役所 第2庁舎 402会議室

出席委員：長谷川教育長 石橋委員 小山委員 松本委員 米倉委員 大賀委員

欠席委員：なし

事務局：清水教育部長 簗原教育総務課長 木部学校教育課長兼主幹指導主事 桐原青少年育成課長 星野文化課長 池見学校給食センター所長 大住指導主事 柴田生涯学習推進課 参事補佐兼社会教育振興係長 教育総務課庶務係（松尾、民谷）

傍聴者：0名

付議事項：

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 諸 報 告
 - (1) 教育長報告
 - (2) 教育委員情報交流
 - ・小学校英語について
 - (3) 教育委員会報告
 - ・古賀市教育委員会フェイスブックの開設について
4. 議案

番 号	件 名	議決年月日	議決結果
第1号議案	古賀市指定有形文化財の告示について（花見遺跡古墳群出土品）	H29. 1. 13	原案可決
第2号議案	古賀市指定有形文化財の告示について（青柳宿下ノ町茶屋の宿札）	H29. 1. 13	原案可決
第3号議案	古賀市指定有形文化財の指定に係る古賀市文化財保護審議会への諮問について	H29. 1. 13	原案可決

5. 協議事項（古賀市教育委員会会議規則第11条により非公開）
 - ・平成29年度古賀市一般会計（教育予算）の当初予算要求概要について（別添資料）
6. その他事項
 - (1) 各課（所属）等報告
 - (2) その他
7. 閉会

会議内容：以下のとおり

1. 開会

14時00分、議長が開会を宣言。

大雪で大変な状況。明日からセンター試験が始まる。雪の影響で受験生に平等さが欠けることのないよう実施していただきたい。

2. 教育長あいさつ

教育長 本年もよろしく申し上げます。年が明け、1月10日から学校が始まった。18日間の冬期休業中、市内の児童生徒に大きな事故なく、元気に登校してきていて、学校も順調に進んでいる。この週末、山間部を中心に福岡でも雪が降るとのこと。授業等に影響はないと思っているが、交通障害が出た場合は学校と連携をとりながら子どもの安全確保を図りたい。

3. 諸報告

(1) 教育長報告

(行事等)

- ・ 1月6日、福岡県とびうめ教育表彰があった。優秀教員、優秀校、マイスター表彰があった。古賀東小在籍で学校給食センターの永尾栄養教諭が食育・給食指導でマイスター表彰を受けている。市内から受章者ができることは他の先生にも励みになると思う。教育委員会でフェイスブックを立ち上げたので、紹介したい。一芸に秀でた先生を表彰するマイスター制度は、昨年まで県立学校だけで行われていたもので、今年度からは市町村立学校の教職員も表彰されることになった。
- ・ 1月8日、成人式式典への出席ありがとうございました。大ホールではトラブルもなく、落ち着いた状況で開催された。
- ・ 1月11日、当初予算副市長査定が行われた。予算も厳しい状況。教育部としては社会教育、学校教育それぞれ担当課から必要性を伝え査定を受けている。

(2) 教育委員情報交流

石橋議長 本日は、2020年から小学校英語が3・4年生で外国語活動、5・6年で教科化されることから、小学校英語について情報交流することとしたい。

教育長 前回の時間割のテーマの時も英語については若干お話したところ。2020年から小学校5・6年生で外国語が教科になり、年間70時間、週2時間の英語の授業が行われる。3・4年生が週1時間、外国語活動の授業があり、時数が増えることになる。2011年から5・6年生で外国語活動として行ってきたが、いよいよ教科化されることになる。移行期間もある。これは、おそらく経済界から、日本の外国語教育が貧弱であるということ、商談が英語で対等にできるレベルを大学を卒業した人は身に付けておいてほしいということから出てきた。英語の文法は知っているが、英語が話せない、英語でコミュニケーションができない。そこをどうにかしようということで、学習指導要領の改訂で、外国語活動、教科化につながってきていると考えている。賛否両論があり、国語も十分でないのということと言う方もいれば、乳幼児から慣れ親しんでいれば自然としゃべることができると思う方もいる。いろいろな課題を抱えながらの出発になるだろう。小学校では教科が増える。また、学級担任制だから一人ですべての教科を教える。教員が対応できるのかということがある。今後、大学を卒業し小学校課程の免許をもっている人は対応できるが。教育長会としては、県に、また県を通じて国に英語を担当する加配教員をつけるなど、何らかのことは必要があると言っているが、人的な配置、予算化は今のところはないとのこと。市には少人数対応非常勤講師がいるが、校長の裁量で任用できるので、英語の免許を持っている人を任用することを考えてはどうかと校長には言っている。小学校の免許を持った方も大事だが、英語の教科化を見越して、中高

の英語の免許を持っている退職者の方などに英語を指導してもらうことも考えられるのでは、と言っている。今年の任用はなかったが、来年は考えてみたいという学校もある。20年度まで移行期間があるので、そういうことをしないと、小学校の先生方がご苦労されるのではないかと考えている。

石橋議長 先生方も大変な時代。英語は、日本人にとっては話すということにおいて、能力的に低い部分。これからの時代、大変必要な教科だと思います。お感じになったこと、市でやってほしいことなどあればお話しください。

小山委員 市では夏休みに小学生を対象にALTの先生による英会話教室が開催されている。毎年、たくさん子どもたちが参加している。保護者も小学生の英語教育に関心を持っているのだと思う。受講した子どもたちも楽しいと言っているようだ。英語を担当する先生が専門の方であれば、より深いところ、子どもたち一人ひとりをしっかり見るができるのではないかと考える。そういう方向で古賀市は進んでほしいなと思います。

石橋議長 講義を受けて子どもたちが楽しいという思いは、興味関心が高いのだから、あとあと伸びる可能性がある。楽しい活動にしてほしい。ゲーム感覚的なものから入って、早くから英語に親しむことができれば上達も早いのではないかと考えています。

大賀委員 記事を読んで感じたのだが、中学校の英語は試験を念頭に文法、単語など、ハードルが高いと思うが、一方で小学校の子どもたちは英語の授業をとっても楽しいと話しています。教え方によって、英語がわからない、つまらないと感じないようにしてもらいたい。指導法を学んでいる中学校の先生が教える場合は安心できるが、学校やクラスによりばらつきがあるのでないかと感じます。英語が増えることで、先生も多忙になってしまうのではないかと考える。英語教育に期待するが、ぜひ日本語や日本文化の素晴らしさも同じように子どもに伝えてほしいと思います。

米倉委員 英語に限らず、私は理科なのですが、理科嫌いもある。嫌う理由は何かなと考えると、教えなければいけない内容がかなり多い。それを教えているとおもしろくないから嫌いになってくる。英語も中学校1年の頃は楽しんでやるが、2～3年生になれば、学ぶ量が増える。単語にしても文法にしても覚えなければならないことがたくさんあり、嫌いになってくる。先日の北中での授業のように、楽しくやると子どもたちにも楽しい面が伝わる。教えなければいけないところは中学校に任せ、小学校の段階では楽しい部分だけをやって、話せる、会話で通じる、聞く力、そこを中心に小学校でやれたらいいのではないかと考える。そのためには専門の人が必要。予算はかかると思うが、ALT、中学校で英語をやっていた先生など、専科用に人をおいて極端に楽しい面だけを強調できないかなと思います。

石橋議長 先生の力量により差が出てくるだろうから、教育長が言われたように専科制の形をとることができれば平等性が保てる。米倉委員がおっしゃるように楽しさも大事。もう1つは高校入試や大学入試は根本的に英語教育が変わらないと楽しいということには結びつかない。学年が上がれば上がるほど詰め込みにならざるを得ない。楽しさを追求するばかりでは大事な部分が落ちていくという心配はある。

松本委員 私立小学校では1年生からやっている。英語が必要ということは仕方ないこと。日本人

もしゃべることができるようにならなければならない時代。千鳥小に音楽指導に行っているが、カントリーロードを英語で歌った。私は初めての英語の歌の指導だったので困ったのだが、子どもはさっと歌える。耳から、音楽から入ってくるようだ。低学年にCD、ビデオを使い、音楽やゲームなどで楽しく体に英語を身につかせる指導をし、高学年は高度にして中学校につなげていく。低学年にたくさん英語の授業を入れるのがいいのではないかと思う。言語は体に身につかせないといけない。

石橋議長 私立では国語以外はすべて英語で授業するところもある。

教育長 知り合いが太宰府天満宮に勤めている。英語が得意で、海外からのお客さんが多いのでやりがいがあると言っている。デパートでも、英語や中国語を話せる方を配置している。グローバル化の中で、日本語だけでは商売にならないから、商談できる学生の育成が必要と言われている。地場産業でも中国語が離せる人、英語ができる人を雇用する。日本人の雇用も奪われるかもしれない。

石橋議長 スムーズに英語教育にとりかかれる環境と、日本人としては表現力の豊かさも求められる。アクティブラーニングも始まる。うまくつないで、育成をしてほしいと思う。本日の委員交流はここまでとしたい。

(3) 教育委員会報告

石橋議長 教育委員会報告、古賀市教育委員会フェイスブックの開設について、報告してください。

教育部長 私の方からは1件、古賀市教育委員会フェイスブックの開設について、報告させていただきます。1月4日から、古賀市教育委員会のフェイスブックを立ち上げた。これは、長谷川教育長の強い思いから実現したもので、今のところ、教育委員会の仕事始めの式や成人式記念駅伝、成人式の状況などを掲載させていただいております。私も古賀市の教育はほかに見られない取組がたくさんあるにもかかわらず、PR不足が課題だと感じていたので、市民の方、市外の方にも情報を発信し、ご理解いただければと考えている。今後も教育委員会関係の行事、例えば、本日の教育委員会の会議の様子など、旬なネタを掲載していきたいと考えております。市役所ホームページからも閲覧できますので、ぜひご覧ください。

4. 議案

石橋議長 第1号議案古賀市指定有形文化財の告示について（花見遺跡古墳群出土品）、第2号議案古賀市指定有形文化財の告示について（青柳宿下ノ町茶屋の宿札）、文化課より一括で提案をお願いしたい。

文化課長 （第1号議案朗読）

4ページをご覧ください。平成27年3月25日付で古賀市教育委員会から古賀市文化財保護審議会長に対し、花見遺跡古墳群出土品の古賀市指定有形文化財への指定について諮問をしておりました。この度、文化財保護審議会で審議を重ねていただき、平成28年12月27日付で考古資料として極めて貴重であるということから、指定し保存することが望まれるとの答申をいただきました。5ページ、花見遺跡古墳群の出土品は

現在のところ古賀市における最古段階における4世紀末から5世紀前半の遺物と位置づけられております。参考に写真をご覧ください。2ページ、古賀市指定有形文化財考古資料として花見遺跡古墳群出土品を指定し告示するに当たり、議決を求めるものです。

(第2号議案朗読)

9ページをご覧ください。平成27年3月25日付、古賀市教育委員会から古賀市文化財保護審議会会長に対し、青柳宿下ノ町茶屋の宿札3枚の古賀市指定有形文化財への指定について諮問をしておりました。この度、文化財保護審議会で審議を重ねていただき、平成28年12月27日付で歴史資料として極めて貴重であるということから、指定し保存することが望まれるとの答申をいただきました。10ページ、指定する理由として、この宿札は幕末頃に記されたもので当時の世相等もうかがえる資料であるということ。写真をつけております。この答申を受け、7ページ、古賀市指定有形文化財歴史資料として青柳宿下ノ町茶屋の宿札3枚を指定し告示するに当たり、議決を求めるものです。

石橋議長 4世紀から幕末までのものです。宿札というのは看板ですか。青柳宿にあったものですか。

文化課長 唐津街道を歩いて参勤交代で来られる殿様が泊まられるときの宿札ということです。歴史資料館で見ることができます。

《第1号議案、第2号議案 原案可決》

石橋議長 第3号議案古賀市指定有形文化財の指定に係る古賀市文化財保護審議会への諮問について、提案をお願いしたい。

文化課長 (議案朗読)

12ページをご覧ください。古賀市新原の高木・前田遺跡第3地点出土品の墓石を古賀市指定有形文化財に指定することについて、古賀市文化財保護審議会会長に対し、古賀市教育委員会として諮問を行いたいというものです。指定候補とする理由としては、13ページ、指定する理由をご覧ください。この墓石は亀光元年という私年号を彫る極めて珍しい資料であり、文久2年江戸後期1862年頃のものと思われる考古資料となります。貴重な資料と考えており、市指定有形文化財に指定することについて、古賀市文化財保護審議会会長あてに諮問したいと考えております。写真も添付しております。

石橋議長 発掘により出てきたのですか。

文化課長 発掘により土の中から出てきたものです。貴重な墓石だということです。

《第3号議案 原案可決》

5. 協議事項

石橋議長 協議事項の平成29年度古賀市一般会計(教育予算)の当初予算要求概要について、に入る前に、この件については、市議会で審議される前の機関内部の協議に関する案件であることから非公開が適切と考えられます。会議は原則公開であるが、委員の発議により出席者の3分の2以上で決したときは非公開とすることができると定められていますから、公開・非公開について委員の議決をお願いしたいと思います。

小山委員 協議事項、平成29年度古賀市一般会計(教育予算)の当初予算要求概要について、に

関して、非公開とすることを発議します。

石橋議長 協議事項、平成29年度古賀市一般会計（教育予算）の当初予算要求概要については、非公開とすることを発議がありました。この発議については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項及び第8項の規定により可否の決定を行います。非公開とすることに賛成の委員は挙手をお願いします。

委員 挙手全員

石橋議長 挙手全員です。協議事項、平成29年度古賀市一般会計（教育予算）の当初予算要求概要については、公開しないことに決定します。

（協議事項は古賀市教育委員会会議規則第11条により非公開）

6. その他事項

（1）各課（所属）報告

ア、教育部長

- ・年始のあいさつ。
- ・先日、横田副市長、教育長、青少年育成課長と、新しくできるししぶ児童センターを見学してきた。あとは仕上げをする段階。楽しい児童館にすべく、1室にボルダリングの設備が整った部屋などもあります。いずれ教育委員さんにも見学いただきたい。

イ、教育総務課

- ・工事の進捗状況の報告。別紙、平成28年度学校施設整備・工事進捗状況をご覧ください。上から3つは既に完了済み。4つ目の花鶴小学校職員室増築工事については、新規の工事で平成29年度の教職員の増に備えるための工事です。その下花鶴小学校大規模改造工事については、現在体育館の屋上防水工事が完了し、予定どおり進捗しています。中学校の屋外遊具等点検委託も完了しており、その下の生涯学習センター及び周辺施設整備工事については、予定どおりに進捗しております。

ウ、学校教育課

- ・不登校児童生徒数については、前月と大きく変わりません。早目の対応をしていきたいと考えております。
- ・古賀市特別支援教育相談室ひまわり教室について。2名の主任相談員が配置されています。活用相談件数が234件と昨年度に比べ増加傾向です。
- ・その他、ランドデザイン報告会を2月に開催予定です。

エ、生涯学習推進課

- ・1月8日、成人式に出席いただきありがとうございました。

オ、文化課

- ・イベントのお知らせ。赤星信子展を2月8日から18日まで歴史資料館で開催します。

古賀市庁舎や交流館に飾っている絵を集め、赤星信子展を開催するものです。

カ、青少年育成課 なし

キ、給食センター なし

(2) その他

教育総務課長 (行事予定表の説明)

庶務係長 (3月定例教育委員会の日程調整)

石橋議長 3月定例教育委員会は3月23日15時30分とする。

7. 閉会

議長が閉会を宣言し、15時10分閉会した。